

地域医療研修レポート

トヨタ記念病院 研修医2年

今回の研修中は主に外来初診と経過フォローをさせていただきました。普段の救急外来では大勢いる患者さんの中からいかに緊急性のある疾患を見つけ出すかを重視して診療にあたっていますが、地域医療では1人1人に対して丁寧に診察を行い、今何に困っているのか解釈モデルを聞き出してプロブレムリストを列挙していくことが大切だと実感しました。病歴を聴取したあとは上の先生方と鑑別を考え何の目的でどの検査を行うか、検査結果をどう解釈するか、今後のフォローや生活指導などを話し合いました。普段当直では自分で勝手に検査を出し特別処置が必要なければ帰すような診察をしていたので、先生からご指導いただき根拠を持って診察を行えるようになったと思います。また、フォローの間隔や生活指導はあまりなじみがなく、緩下薬のような頻用薬の処方もあまり分かっていなかったので、今回得た知識を今後の診療に生かせるよう心がけます。

毎日夕方にある振り返りカンファでは若手の先生が診察した外来患者さんや相談症例をフィードバックしご指導いただきました。自分の症例はもちろん、他の先生が診た症例についても様々なアドバイスが飛び交い大変勉強になりました。全体でのカンファの後に2, 3人ずつに分かれてチームカンファがあり、質問や相談がしやすく教育的な環境が整っていると感じました。また新城市民病院には若手の先生が様々な病院から研修にきており、他の病院事情を聞く貴重な機会となりました。

作手診療所ではできる検査がエコー、レントゲンくらいなので、病歴聴取や身体診察の重要性を実感しました。また新城市民病院よりも地域医療らしさがあり、入室時から患者さんと医師との間に強い信頼関係が築かれていることを感じました。医学的に正しいか、正しくないかだけでなく患者さんの生活背景を意識して診察にあたっている姿が印象的でした。

最終日に Up To Date 勉強会があり、登録だけしてほとんど使っていなかった Up To Date を用いて臨床疑問を解決する方法を学びました。本文が英語というのもあり今まであまりなじみがありませんでしたが、内容がまとまっていて探しやすい、これからの診療で活用していきたいと思います。

GW 含めた4週間という短い期間であり、さらにコロナウイルスの影響で患者数が少なく施設訪問も中止となってしまい、まわりのおすすめの飲食店にも行けず非常に残念でしたが、地域医療の特性や役割を理解することはできたと感じています。実習中に学んだこと、反省点を日々の診療に取り入れていきたいです。ありがとうございました。